

事業所名		Co Co plus one		公表日		2025年 7月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
備 ・ 体 制 整	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		活動ごとに環境設定を行っている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		現在の利用人数には適切である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		死角がなく、見渡すことができる構造になっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日の清掃と、消毒作業も徹底している。また、コップ等の消毒も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウンしたり、落ち着いて過ごせる空間として、個室を設けている。仕切りを作り空間を工夫している		
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		職員全員で行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		職員間で認識共有と、改善について話し合いを行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		個人面談を定期定期に行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		現時点では、第三者委員会などの外部機関とつながっていない。今後必要な機会があれば、対応していきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		月に一回は研修に参加する機会を設けている		
適 切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		職員にも周知している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		見学と契約時に聞き取りを行い、また子どもの様子を観察し、環境等も考慮しながら、計画書を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		毎日のミーティングで、情報や気づきを共有できている。また、毎月の定期会議でも話し合いを行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		職員が共通認識で支援を行えている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		フェイスシート・アセスメントシート・サポートブックを記入をしていただき、確認をしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「専任支援」、「移行支援」及び「関係者・関係機関」のねらい及び支援内容が踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な実施内容が設定されているか。	100%		子ども一人一人の発達状況やご家族の希望に応じて作成している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		活動を立案する担当職員を一週間ごとに変えて行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		個別支援計画書にある課題も入れながら、プログラム決めも行っている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		子どもの状態を考慮しながら、毎日の活動で個別活動と集団活動の両方を行っている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		前日のミーティングで、利用児童・送迎の確認・活動の留意点などの確認を行っている		
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	100%		毎日職員のミーティングを行い、情報を共有している		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日、その日の利用児童の記録を入力をして記録をとっている		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年に1回、個別支援計画の見直しのモニタリングを職員会議で行っている		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		意識して活動を取り入れている		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	80%	20%	SSTなどで、気持ちを考える場を作っている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が主に参加して連携を図っている		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		電話や訪問等で連携を図っている		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		毎日の送迎時に行っている		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		情報共有をしているが、就学してから時間が経つと、機会は減っている		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	40%	60%		まだ小学校低学年の利用児の為、今後対応していきたい	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	職員それぞれが必要な研修を受けている		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	職場体験など、大人と関わる場面はあるが、子ども同士の機会は今後取り入れていきたい	長期休み中の活動などを通して、今後検討していきたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		管理者が参加している		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時や連絡帳で様子を伝えている。更に気になる事については、管理者から電話をしたり面談をしている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		事業所でのペアレントトレーニングは開催されていないが、郡山市から案内があった研修等については案内をしている		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		利用契約時に、保護者に書面で通知をして、説明を行っている		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		ご家族と面談時にモニタリングを行い、ご家族の意向を確認し、個別支援計画を作成している		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		面談時に読み合せて内容の詳細を説明をして、同意を得ている		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		お子様の様子で気になることがある場合は、常時面談の希望は受け付けている		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		行事等を通して、保護者同士が交流できる機会も検討していきたい	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談については、主に管理者がその日のうちに対応をしている		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月発行の「ココプラだより」やインスタグラム等のSNSを使って発信している		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		契約時に写真掲載についてはサインをいただいている。同意をしない方は、掲載をしていない		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		口頭ではわかりやすい言葉を使いながら説明をし、更に書面でも通知している		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	長期休み中、地域住民の方を講師にお招きして、体験活動を行った	今後行事等を企画して、招待できる機会を増やしていきたい	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		契約時に対応マニュアル等の説明を行っている。年に2回避難訓練を行っている。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年に2回避難訓練を行い、避難経路等については入口に掲示している		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		見学や契約時に保護者に聞き取りを行っている		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	現在該当する児童はいないが、食物については、成分表を見て安全なものを選択して準備をしている。	現在該当する児童はいないが、今後必要際には、適切に対応していきたい。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		研修や訓練の後には、反省と今後の課題を話し合い、職員間で共有している		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明を行っている		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハット報告書を準備し、振り返りを行い再発防止に努めている		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%	職員が虐待防止への意識をもって支援している	外部研修にも参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時に説明を行っている		